



第3回 被災地とところをつなぐ

東日本大震災の 風化を防ぐ フォーラム

～福島県沿岸の町「新地町」の取り組みと首都圏のわたしたちができること～

2015年6月13日(土) 13時30分開始 (13時開場、16時20分閉会予定)

会場：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント1階グローバルホール

(東京都千代田区神田駿河台、JR 御茶ノ水駅より徒歩3分)

***参加費無料 (定員192人)**

主催：東日本大震災の風化を防ぐプログラム実行委員会

エンパワーするNGO



MEIJI
UNIVERSITY

共催：公益財団法人東京YWCA / 明治大学震災復興支援センター

協力：公益財団法人日本YWCA

○このフォーラムは、東日本大震災の「風化を防ぐこと」をテーマに掲げ、福島県新地町への支援を続けている東京YWCAと明治大学震災復興支援センターが、2013年から毎年、共催で開催しています。

○はじめに、震災のあった3月11日に、新地町立尚英中学校で教頭をされていた松本一宏氏から、震災当時、またその後の子どもたちの様子を、教育者の立場からお話しいたします。

○被災地から600キロ離れた名古屋から、新地町の3つの小学校とテレビ電話相談を通して子どもたちの心のケアを行っている名古屋YWCAの赤澤ヒロ子氏に、震災直後からこれまでの子どもたちの心の変化をうかがいます。

○つぎに、震災当時は高校生だった明治大学の学生が、震災から数年たってボランティア活動のため現地に入って被災地でボランティアを経験した後に、感じたこと、考えたことを聞きます。

○新地町は復興のさなかにあります。昨年に引き続き、現状と課題を、新地町役場で復興推進を担当している職員に聞き、首都圏に住む私たちはそこにどのようにかかわることができるのか、フロアも交えて未来志向でディスカッションします。

○タイムテーブル

13:00 開場

映像「知られざる被災地 福島県・新地町」(上映時間30分)

制作/明治大学情報コミュニケーション学部 川島ゼミナール

13:30 開会

あいさつ/松橋公治(明治大学震災復興支援センター長)

池上三喜子(東京YWCA東日本大震災被災者支援プロジェクト長)

司会・進行/鳥居高(明治大学震災復興支援センター副センター長)

13:40 震災と子どもたち 一新地町立尚英中学校で教頭を務めて

松本一宏氏(相馬市立八幡小学校校長/前新地町教育委員会課長補佐兼指導主事/震災当時:新地町尚英中学校教頭)

14:20 子どもたちの心のサポート 一新地町小学校「テレビ電話相談」

赤澤ヒロ子氏(公益財団法人名古屋YWCA シンチ・ハート・プロジェクト)

14:50 被災地でボランティアを経験した後に、感じたこと、考えたこと

白崎絵さん(明治大学商学部3年)

清野真登さん(明治大学農学部3年)

15:10 休憩(10分)

15:20 新地町はいま

小野好生氏(新地町復興推進課長)

15:50 フロアとのディスカッション

○主催:東日本大震災の風化を防ぐプログラム実行委員会

○共催:公益財団法人東京YWCA
明治大学震災復興支援センター

○協力:公益財団法人日本YWCA

○お問い合わせ

公益財団法人東京YWCA 被災者支援プロジェクト

TEL: 03-3293-5421

*会場のご案内

○地下鉄出口 ◆JR出口



丸の内線御茶ノ水駅 徒歩5分
JR中央線・総武線御茶ノ水駅 徒歩3分
千代田線新御茶ノ水駅 徒歩5分
三田線・新宿線・半蔵門線神保町駅 徒歩5分